

市政について 問う！

第二回（十一月）定例会では、二十人の議員が市政について質問しました。

一般質問

議員名	主な質問項目	掲載頁
井原三千雄	中心市街地の商業振興、新市民体育館、地域資源の活用	4
市川 道隆	フェンシングのまち沼津、新中間処理施設整備、定住人口確保対策	4
小澤 隆	にぎわいづくりの着眼点、まちづくりへの市民参加	5
加藤 明子	災害対策、避難所運営、情報伝達、ペット同行避難、自転車条例	5
渡邊 博夫	新学習指導要領、児童生徒の発達支援、SDGs、気候変動	5
山下富美子	児童発達支援センターみゆき、専門職の受け入れ体制	5
大場 豪文	統一的な基準による地方公会計制度	6
江本 浩二	本市の温室効果ガスの削減、焼却場でのプラごみ焼却	6
片岡 章一	幼児教育・保育の無償化、交通安全対策	6
長田 吉信	防災・減災対策、避難所運営、防災情報、停電と断水対策	6
小泉 宣子	食品ロス削減、インフルエンザ予防接種	7
原 信也	水害対策	7
平野 謙	自殺予防の取り組み	7
梅沢 弘	他市に類を見ない試算、高架訴訟一審判決、デジタルサイネージ	7
水口 淳	戸田地区の防災	8
浅田美重子	非常用の電源確保策、不登校対策、障害のある児童生徒への支援	8
霞 恵介	自治会活動、外国籍の児童生徒	8
渡部一二実	学校施設へのエアコン設置事業	8
岡田 進一	高尾山古墳の保存と利活用、古代歴史資源の継承	9
川口 三男	「ヒト中心」の拠点都市の形、生活が完結できる地域拠点	9

※形式として質問形式を記載しています。

一 括：通告した全ての内容を一括して質問した後、市当局が一括して答弁する方式

一問一答：議員からの一つ一つの質問ごとに、市当局が答弁する方式

複 合：1回目は一括で行い、2回目以降から一問一答に切り替えて行う方式

全ての質問項目
(通告一覧)はこちら



フェンシングを生かしたまちづくりの 取り組み状況と今後の方針は

問 フェンシングを生かしたまちづくりの取り組み状況と今後の方針は。

答 市長／平成三十一年二月に日本フェンシング協会と全国初の包括連携協定を締結したほか、令和元年度は、フェンシング未経験者を対象とした体験会や、経験者を対象とした練習会、日本、カナダ、ドイツ、フランス代表による女子フルーレの合同合宿などを実施した。また、キャリア教育による学校訪問や、東京都で開催された全日本選手権大会のパブリックビューイングをららぽーと沼津で行うなど、フェンシングの普及に努めている。これらの取り組み

に加え、令和二年度は、国際大会の金メダリストの輩出に向けた強化練習を本格的に開始するほか、東京オリンピックの事前合宿としてカナダ代表及び日本代表フルーレチームを受け入れることも決定した。今後、スポーツの拡大を図ることでフェンシングのまち沼津のブランド形成を図っていく。



▲アスルクラロ沼津ホームゲームでのフェンシング体験

中心市街地の商業振興に対する 本市の認識は

問 さらさらぽーと沼津が開業し、11カ月が経過したが、交通混雑の状況は。②中心市街地の商業振興に対する本市の認識は。

答 都市計画部長／①令和元年十月二日の内覧会では、想定以上の来店車両が集中したことにより大きな交通混雑が生じたが、その後は一時的に交通混雑を引き起こす時間帯はあるものの、開業期の交通混雑として想定範囲内と認識している。なお、さらさらぽーと沼津において、誘導経路上での案内看板の設置やプラカードを持った案内人の配置に加え、新たに臨時駐車場への案内強化を目的と

したLED看板の設置や施設周辺での案内マップの配布などの交通誘導を行っている。

産業振興部長／②中心市街地の商店は、地域とのかかわりの強さを生かし、郊外の大形店舗やネットショッピングとは異なる魅力を創出していくことが必要であり、小売、飲食、サービス業はまちの魅力を高め、豊かな暮らしを生み出す機能として重要な役割を果たすものと認識している。そのため、商工会議所、金融機関等と連携し、個店の経営改善や融資等のごまごまな相談、支援を行い、経営の安定に努めている。

市川 道隆 形式一括

井原 三千雄 形式一括